



朝来市議会

議会だより

第82号

2022(令和4)年8月5日発行

■ 第5回(6月)定例会

議案審議	2
賛否の状況／政務活動費	3
委員会報告／議会モニター意見交換	4
議会だよりアンケート集計結果	5
市政を問う(一般質問)	6～13
ようこそ朝来市へ／日程(9月定例会)	14

鉱石の道を駆け抜ける
南但馬グリーンライド(山本区)



暮らしを守る 物価高騰にすばやく対応 補正予算を可決

6月定例会が、6月6日から27日まで22日間の会期で開かれ、条例の一部改正7件、令和4年度補正予算1件などが提案されました。

条例改正については所管する常任委員会で、補正予算については予算決算特別委員会で審査を行いました。

また、最終日には1件の意見書提出について文教民生常任委員会が発議し、全会一致で可決しました。

一般会計補正予算

補正予算（第3号）の 附帯決議を可決

令和4年度一般会計の補正予算（第3号）は、現予算額に合計2億2030万円を増額し、総額204億3490万円とするものです。

予算決算特別委員会で審査し、全会一致で可決しましたが、議会の意味を市長に示すため、附帯決議を行いました。

質疑

問 肥料購入支援事業、非常にいい制度だと思うが、精算払い・概算払い、どちらなのか。

答 精算払いということで確認を取っている。

問 電子地域通貨あきごPay、予算規模が拡大され200店舗参加を目標ということで、朝来市の経済発展について大いに期待するが、常設化の見通しは。

答 地域内での消費を循環させていくという意味で非常に意義があり、消費動向等も踏まえながら、今後の展開を十分検討していきたい。

問 鉄道利用者を増やしていくことは重要であるが、どのぐらいの利用者を増やそうとしているのか。

答 今回の補助金で、定期券利用者等をまずは10人程度増やせばと考えている。今後、商工会等を通じて利用促進していかねばならない。



（議案審議）



（附帯決議）



▲乗って守ろう播但線

一般会計補正予算（第3号） に関する附帯決議（要約）

実務的な手間や素早く補助金を交付するという観点から、補助対象者が概ね把握できる水稲については定額払いによる交付を検討されたい。

なお、畑作については、補助対象者の把握が困難であるため、公平に補助金を交付する観点から精算払いが望ましいと考える。

※附帯決議とは
議案を可決する際に付け加える
議会の要望。

6 月定例会で審議した議案に対する賛否の状況

議 案 名	松井道信	藤原正伸	尾崎里美	吉田俊平	加藤貴之	関綾乃	森下恒夫	嵯峨山博	水田文夫	藤本邦彦	森田龍司	浅田郁雄	日下茂	横尾正信	足立義美	淵本稔	上田幸広	西本英輔
専決処分の承認を求めることについて（朝来市税条例の一部を改正する条例）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
専決処分の承認を求めることについて（朝来市国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
朝来市職員の互助共済制度に関する条例の一部を改正する条例制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
朝来市税条例の一部を改正する条例制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
朝来市公園条例の一部を改正する条例制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
朝来市営住宅条例の一部を改正する条例制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
朝来市議会議員及び朝来市長の選挙における選挙運動の公営に関する条例の一部を改正する条例制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
朝来市過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法に基づく固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
令和4年度朝来市一般会計補正予算（第3号）について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
朝来市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
朝来市営住宅枚田住宅改善工事請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
教職員定数改善と義務教育費国庫負担率の引き上げをはかるための2023年度政府予算に係る意見書採択の請願について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第41号令和4年度朝来市一般会計補正予算（第3号）に関する附帯決議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○
教職員定数改善と義務教育費国庫負担率の引き上げに係る意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

賛成した議員は○ 反対した議員は● 欠席した議員は欠 ※議長には通常、表決権がありません。

【政務活動費を充てることができる主な経費】

- 調査研究費…会派が行う市の事務、地方行財政等に関する調査研究に要する経費
- 研修費…会派が研修会を開催するために必要な経費、団体等が開催する研修会への参加に要する経費
- 資料購入費…会派が行う活動のために必要な図書、資料等の購入に要する経費
- 広報費…会派が行う活動、市政について住民に報告するために要する経費

政務活動費は、議員の政策提言に必要な調査研究・研修などの経費として、各会派に對して交付されています。ここでは、令和3年改選後の政務活動費収支報告をお知らせします。

提出された収支報告書等の写しは、市議会ホームページで公開しています。

政務活動費の使い道

令和3年11月～令和4年3月分

	清風の絆	朝来市創生の会	自由倶楽部	朝来市議会公明党	コンセルヴァトゥール	合 計
人数	9 人	4 人	3 人	1 人	1 人	18 人
収入						
政務活動費	450,000円	200,000円	150,000円	50,000円	50,000円	900,000円
支出						
研修費	20,380円		84,880円	2,000円		107,260円
広報費		16,788円				16,788円
会議費		1,000円				1,000円
資料作成費	9,702円			871円		10,573円
資料購入費	31,020円		19,063円		29,810円	79,893円
計	61,102円	17,788円	103,943円	2,871円	29,810円	215,514円
収支差引残額	388,898円	182,212円	46,057円	47,129円	20,190円	684,486円
実質政務活動費額	61,102円	17,788円	103,943円	2,871円	29,810円	215,514円

※収支差引残額がプラスの場合には返納しています。



(政務活動費)

産業建設常任委員会

生野マイクロ水力発電・弥生が丘団地の土地利用について現地視察を実施しました。

観光 DMO に関する事項、ふるさと納税に関する事項、新型コロナウイルス感染症に係る市内経済及び観光産業・農林産業への影響・対応に関して、それぞれの所管事務調査を実施しました。

今年度当市独自の支援策として、肥料購入支援事業に取り組むこととなりました。



▲高騰化がすすむ化学肥料

総務常任委員会

閉会中の所管事務調査は、議会報告会の準備のため「新型コロナウイルスに係る対応とその危機管理対策に関する事項」の協議を五日間行いました。

また「自治体 DX に関する事項」と「公共交通施策に関する事項」に係る当局質疑を一日間行い、意見交換を一日間行いました。

「自治体 DX に関する事項」と「公共交通施策に関する事項」は今後も継続して調査を行うことを確認しました。



▲委員会での協議の様子

～議会モニターさんとの意見交換～

4月21日、議会モニターの皆さんと市議会議員による意見交換会が行われ、様々なご意見をいただきました。

意見交換会当日に参加いただくことができなかったモニターの方からも、活動報告書という形でご意見をいただいております、今後の議会活動において参考にさせていただきたいと考えています。



▲意見交換会の様子

文教民生常任委員会

新型コロナウイルスに係る対応に関する事項、時代に即応した学校運営に関する事項、子育て支援に関する事項について調査しました。また、適応指導教室（すまいるルーム）の現地視察を行い、不登校児童生徒への学習活動や学習援助等の状況確認と指導員の皆さんと意見交換をしました。

開所して数ヶ月ですが、効果が出ていることを確認しました。



▲意見交換をしている様子

議会広報特別委員会調査報告

【調査概要】

議会広報特別委員会では、議会だよりが市民の皆さんにより親しまれ、分かりやすく読みやすい紙面となるよう編集作業を行っています。この度、皆さんの議会だよりに対する思いを聴取するため、「議会だよりアンケート」による調査を行いました。

アンケートはがきは、5月発行の議会だより第81号に挟み込み、インターネット回答の手法も取り入れました。

【集計結果】（合計91件）

※インターネット回答12件（13.2%）はがき79件（86.8%）

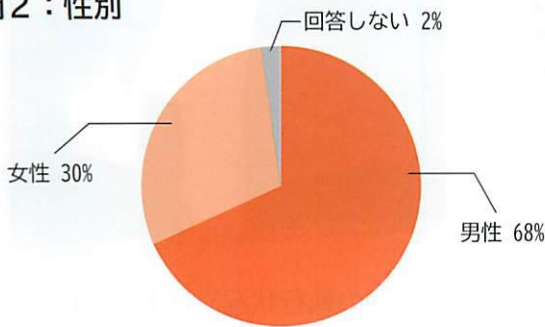
問1 年代

20歳未満：0
20代：0
30代：4
40代：5
50代：7
60代：26
70歳以上：48
未記入：1

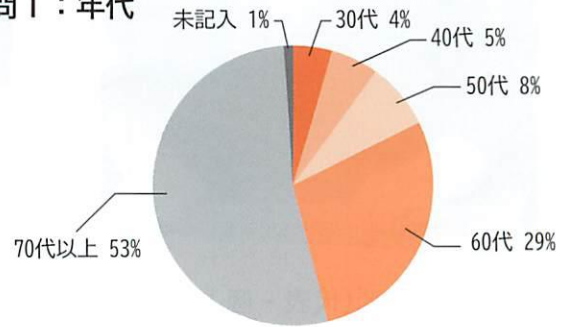
問2 性別

男性：62
女性：27
回答しない：2

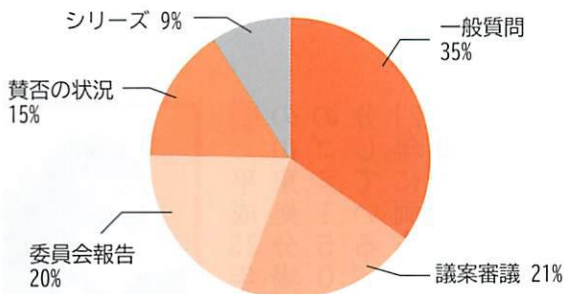
問2：性別



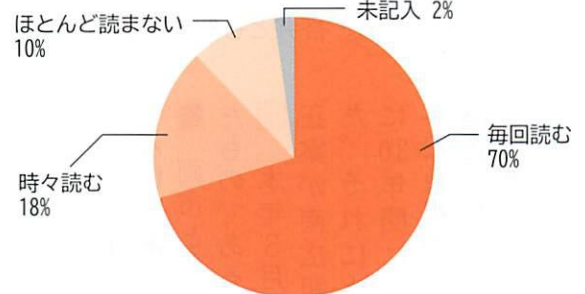
問1：年代



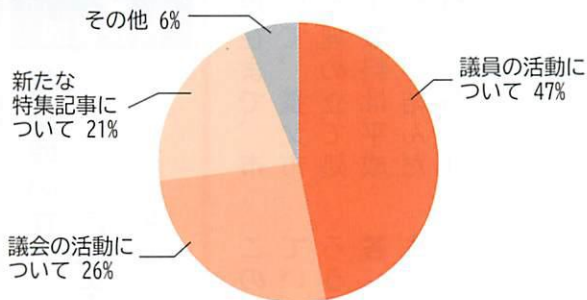
問4：よく読んでいる記事



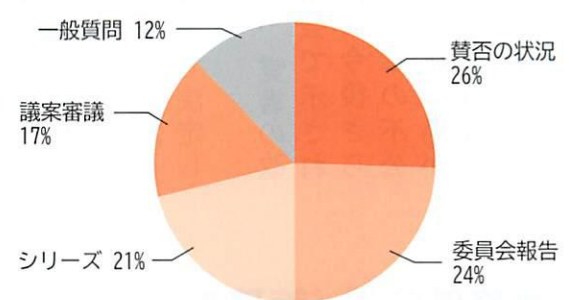
問3：議会だよりを読む頻度



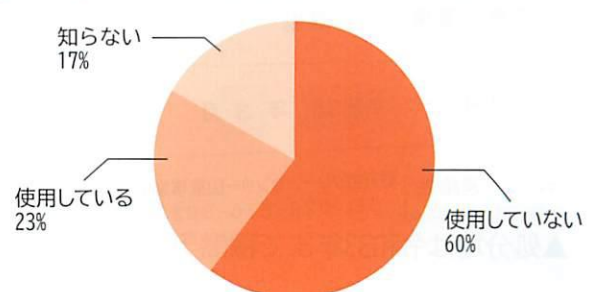
問6：今後、取り上げてほしい内容



問5：あまり読んでいない記事

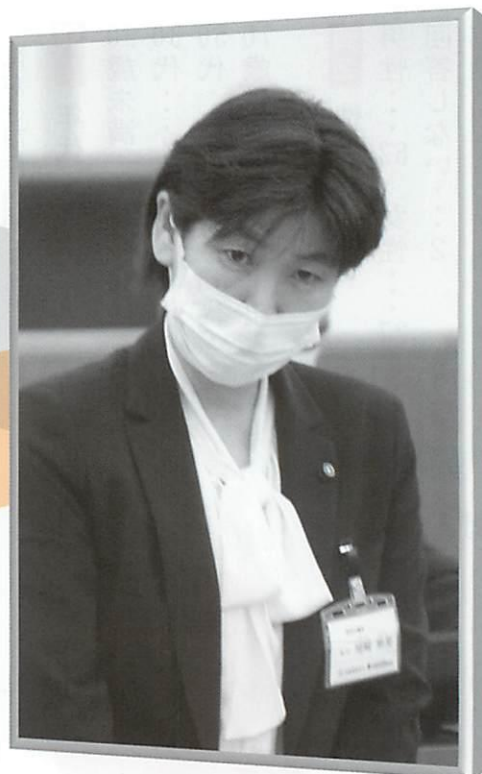


問7：QRコードを使用していますか



アンケートへの
ご協力ありがとうございました。
いただいたご意見・ご感想の詳細や、委員会としてのまとめについては、今後の委員会報告等で報告させていただきます。

市政を問う



一般質問(代表・個人)では、市長などの執行機関に対して、事務の執行状況や将来の方針等について問い質し、また、行政施策に対する提案等も行います。

なお、内容は各議員が560字以内にまとめたもので、質問順に掲載しています。紙面の制約上、質問・答弁とも要約されています。

問 平成25年から現在まで、市の山東処分場において、養父市のゴミ150トン埋め立て処分している。その手数料は平成21年に両市と南広組合が結んだ覚書によっているがトンあたり1万円とコストの4分の1で余りに安い。安い理由は何か。

答 両市と組合との協議の中で、当時の養父市の料金の例に基づいて10キロ百円と決めた。

問 山東処分場に埋め立てている選別残渣の4割は養父市分である。しかし覚書によれば養父市のコスト負担割合は7%に過ぎない。あまりにも不公平だ。

答 両市と組合の協議で決定したものである。

問 本年3月29日に、覚書の改正案が南広組合議会で示された。それによれば、今後さらに30年間にわたり、この不公平な負担が継続する。処分場が廃止されるまでの朝来市の負担は7億3千万円だが、養父市の負担は5千7百万円に過ぎない。



代表質問

養父埋め立て
ごみ手数料問題

自由倶楽部 横尾正信



最終処分場(管理型)

燃物残渣・清掃汚泥・鳥獣

成6年4月 - 令和33年3月

市長 連絡先 朝来市クリーンセンター山東事業所
TEL 079-676-3923

▲処分場は令和33年まで稼働予定

問 この極端な不公平をずっと続けていくのか。市民は認めないだろう。

答 覚書改正案はまだ正式に決まったものではない。内容については継続して協議していく。

問 ところで、覚書は実は南広組合の規約第3条に違反している。覚書では最終処分(埋立)の契約は組合と朝来市の間で契約されているが、組合の業務は規約で中間処理に限られており、最終処分の契約はできない。

答 南広組合の規約のことなので、当議会での答弁は控える。



個人質問

播但線の利用促進と
観光列車としての魅力を

淵本 稔



○デジタル田園都市構想

問 国が提唱するデジタル田園都市構想に、市はどう向き合うのか。

答 市役所に行かなくても、各種手続きが完結できるよう、ワンストップサービスの実現をめざす。

問 災害に強い朝来市にデータベースセンターを誘致して、雇用促進とデジタル人材育成をめざすべき。

答 分散型データセンターも必要になってくるので、検討したい。

○バイオマス発電の安定を

問 世界的な木材需要、価格高騰によって、生野工業団地にあるバイオマス発電所に間伐材が集まりにくくなっている。社会情勢が激変している時なので、固定価格買取制度を見直すよう県に要望すべき。

答 市として搬出の補助として千円の上乗せをしている。

○JR播但線を維持すべき



▲生野工業団地内のバイオマス発電所

問 JR西日本は、播但線の寺前と和田山間が赤字だと公表し、沿線自治体の協力を求めている。

答 いくつかの地域自治協議会が利用促進のためのイベントを行い、感謝する。神戸町も含め、但馬3市2町でローカル線維持継続の要望書を国に提出しており、また、県とも協議している。

問 観光列車としての魅力を出すことも必要で、和歌山県貴志川線の猫の駅長・たま駅長、たま電車が良い手本になる。

答 域外からの関係人口増のため観光利用も必要と思っている。



個人質問

住んでよかった朝来市に！

関 綾乃



○朝来市における危機管理及び災害への対応について

問 災害発生時の確認方法は、地域の情報として各区長・防災委員・地域の皆さんから連絡を頂く。また職員による市内パトロールや危険箇所等の情報確認を行っている。

問 ドローンを活用する自治体もある。どう考えるか。

答 有効な活用手段と考える。本市も災害対応活動緊急測量業務により迅速な状況把握・被害拡大防止・早期復旧を図ることを目的に朝来市測量設計協会と協定を結んでいる。

問 他分野でも期待が持てるが、ドローンを導入しスマート農業を実践する農業者もあり、検討に向けての相談も受けている。観光分野でも撮影したPR動画で本市の魅力を伝えている。

○新型コロナウイルスワクチン接種とその副反応について

問 国の主導で進めるワクチン接種は何を基準に適当と判断したのか。

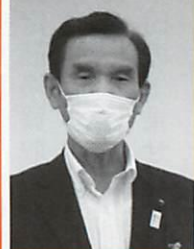
答 朝来市独自で実施基準を設けて調査したわけではない。

問 ワクチン接種を完全否定はしないが、万能でない接種については副反応の症例も含め、情報提供が必要なのではないか。

答 健康被害調査は国の業務である。また接種券に同送するチラシ等で接種の説明や副反応の記載をご覧頂くこと、他、厚労省の新型コロナウイルスワクチン接種サイトを周知できるよう努める。



▲多くの分野で活躍が期待できるドローン



個人質問

竹田城跡観光の振興等を

足立義美



○登り石垣の調査・保全を

問 日本国内では、数える程の城にしか現存しない、登り石垣の調査、保全を図るべきでは。

答 現地での調査等により、遺構の状況は把握しているが、かなり崩れかけている部分もあるので、今後どのように整備するか、竹田城跡整備検討委員会等で検討したい。

○石畳の敷石を見学コース外に

問 石畳を見える形で整備されたことは評価するが、史跡保護の観点から見学コースを石畳の横を歩くように変更されたい。

答 石畳を見ていただくことが大切ということで、現状としている。状況を確認しながら、どうすることが最適か、十分検討していく必要がある。

○朝来市民の観覧料無料化を

問 交流人口の拡大、地域経済の活性化を目指し、市民の観覧料を無料化することで、おもてなしの実践を図るべきでは。

答 観覧料は、保存活用の財源



▲立雲峡の「光の道天望所」

としている。市民の方には、年間パスポートを購入いただくなどご協力をお願いしたい。

○立雲峡の道天望所の反響は

問 立雲峡の展望台に設置された光の道天望所は、雲海が広がる中で、幻想的な雰囲気を感じ出すと期待しているが、設置に対する反響は。

答 展望台の魅力を創出するために、モニメントを設置した。テレビ放映、YouTube配信、インスタグラム投稿等、一定の効果はあったと評価している。

○平和を考える教育

問 戦争を子供たちは目の当たりにしている。どう教育現場で指導されていますか。

答 罪のない人の貴い命が奪われている、現状に触れ、戦争のない平和な世の中の大切さや、戦争という状況を避けるにはどうすればよいか、発達段階に応じて指導している。

問 山口こども園の青い目の人形、友情と平和を語るメリーちゃんを今こそ教育に活用すべき。

答 戦争について考え、平和について考え、そして平和について学ぶ、教育に効果がある。

策 ○子供の安心・安全、防犯対策

問 防犯カメラを学校周辺や通学路、駅前設置すべき。

答 教育委員会、警察等関係機関との協議を行いながら、総合的な検討が必要。

問 山口小学校が土砂災害警戒区域内にあります。

答 来年度新規採択事業の



▲メリーちゃん。顔の傷は戦争の時

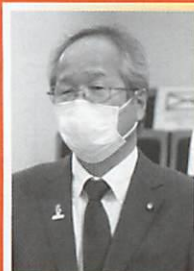
答 自らのアイデアを工夫して、そして実現していく、そういう経験は非常に重要。学校と連携しながら、学校教育活動の中で生徒たちが自らの力でアイデアを実現していく、そういう取組を進めていきたい。

予定箇所として取り組んでおります。

○朝来の未来への投資

問 子供が描いたアイデア、夢を自ら実行してもらう事業として、「PLAN・U・18」を提案します。未来への投資額は、市内の中学校、高等学校、毎年200万です。

答 自らのアイデアを工夫して、そして実現していく、そういう経験は非常に重要。学校と連携しながら、学校教育活動の中で生徒たちが自らの力でアイデアを実現していく、そういう取組を進めていきたい。



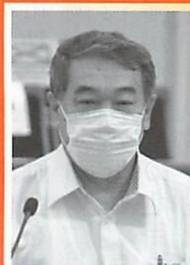
個人質問

住み続けたい

元気で美しい朝来市

水田文夫





個人質問

市民にやさしい生活を

浅田 郁雄



個人質問

本質的な行政改革の

取り組みを！

吉田 俊平



○除雪対策について

問 今、市に歩行型の除雪機は何かあるのか。

答 市では、34台保有している。

問 区で除雪機を購入する場合補助金制度はあるのか。

答 市としては、補助金制度はありませんが、地域づくり補助金制度で調査研究を進める必要があると考えている。

○こども園の事務処理について

問 どのような事務処理があるのか、その対応はどうしているのか。

答 週案、月案、クラス便り、研修報告書等があり、会計年度任用職員を2名派遣している。

問 今、こども園に必要なものは、何だと思いますか。

答 書類が多くあるが、記録の方法を見直すことが可能と思っているし、もっといい改善方法がないか検討したい。

○白井大町ふじ公園、夜久野高原観光について

問 白井大町ふじ公園や夜久野



▲朝来市保有の歩行型除雪機

高原花畑のトイレや駐車場の整備はされているのか。

答 白井大町ふじ公園では、トイレ等の大きなトラブルはなかったようですが、夜久野高原花畑にはトイレもなく、駐車場もないので、今後検討したい。

○補聴器の購入費助成について

問 市では、補聴器購入時の助成をしているのか。

答 市では、補聴器購入に対して助成はしていない。

○行政改革について

問 一般職員は22・56%減り、管理職は10・14%増えている。

答 管理職率を下げ一般職率を上げる必要があると考えるが。

問 一定の管理職の配置は必要。人事評価を改めるべきだが。

答 市職員の人事評価に関する規程が定める勤務成績評価用の階層別の評価項目と、人材育成計画に掲げる階層別に求められる役割と能力は今後に整合性が図れるよう見直しを図りたい。

問 正規が16・12%減少し、非正規が43・87%増加をしていることから規則を改正すべきだが。

答 類似性のある職種の報酬体系を統一的に取り扱うことは検討の余地があると認識している。

問 公文書管理条例を制定し公文書を管理する目的及び作成義務を規程するべきと考えるが。

答 今後の電子決済、文書管理システムの導入の際に、条例制定も含め検討したい。

問 業務改善委員会規程を改正

答 今後の電子決済、文書管理システムの導入の際に、条例制定も含め検討したい。

業務改善委員会規程を改正

業務改善委員会規程を改正

管理職比率			
	平成20年度	令和4年度	対比(令4:平20)
1級	46	72	56.52%
2級	33	27	-18.18%
3級	117	38	-67.52%
4級	101	93	-7.92%
5級	16	29	81.25%
6級	41	29	-29.27%
7級	12	18	50.00%
合計	366	306	-16.39%
職員増減率	-	-1.61%	-16.39%
一般職数(1級~4級)	297	230	-22.56%
一般職率	81.15%	75.16%	-5.98%
管理職数(5級~7級)	69	76	10.14%
管理職率	18.85%	24.84%	5.98%
管理職増減率	-	0.08%	-
部・課長数	55	56	1.82%

▲一切の聖域を設けない行政改革を！

問 今後の取組みで考えたい。宿泊旅費の定額支給を改めるべきと考えるが。

答 最小の経費となるよう適正な支給に努めたい。

問 余裕をもって引継ぎができる体制を整えるべきと考えるが。

答 内示期間を次年度以降、しっかりと調整させて頂きたい。

問 行政財産が借上げ地となっている問題は解消すべきだが。

答 土地所有者の方と継続的に調整を続けてまいりたい。



個人質問

対話で拓く朝来市の未来

加藤 貴之



○消防団の活性化

問 団員確保の方策は。

答 現在、団員は定員1050人に対し平成30年で972人、令和4年で937人と減少傾向。分団や区長を通じた勧誘の他、自動車免許取得の補助を行っている。

問 消防庁長官通知に沿い、処遇改善と報酬の直接支給をすべき。

答 処遇改善に向けて協議を進め、議会で提案したい。報酬の直接支給は分団長へのアンケートで様々な課題が挙げられ、賛否両論があった。消防団の活性化に結び付くよう十分に検討したい。

○産後ママの育児支援

問 男性の育児休業推進のため、取得した労働者と企業に対する市独自の奨励金を設置すべき。

答 日本の男性育児取得率は12・7%と低調。国の助成金制度がありその活用を推進したい。市の通所型産後ケア事業は



▲将来も地域を支える消防団に！

姫路市か丹波市の病院まで通う必要があり利用が困難。市内でのサービス提供を望む。

問 通所型は利用者が0人であり、提供体制の見直しを検討中。場所と人材の確保が課題である。

○外国ルーツの子ども支援

問 日本語等の支援体制は。

答 日本語指導が必要な児童生徒は5名。県予算に市の独自予算も上乗せし支援員3名が授業に付き添う。今後、人数の増加等をみて体制強化を検討する。

問 多文化共生推進体制が必要。地域自治協、国際交流協会、NPO法人等と連携し多様な市民が暮らしやすい町を作る。

○コロナワクチン接種について

問 朝来市は、コロナに対する人権侵害に対しいち早く啓発文章の発行、またコロナ給付金一律10万円に対しても早急な対応で市民に大変喜ばれた所ですが小児接種が始まり、保護者の接種判断材料となる根拠ある情報を配信していくべきでは。

答 朝来医師会と相談しながら厚生労働省作成のチラシを用いてワクチン効果、接種後の恐れのある症状や予防接種健康被害制度の情報等を記載し、接種判断を頂くように案内しております。

問 コロナ感染症について
感染状況の把握はされているのか。また細かく把握するべきと思いますが。

答 年齢・性別・職業・病状の把握は出来てますが自宅療養者とそれ以外の方にについては朝来健康福祉事務所が管理してます。

個人質問

コロナについて

尾崎 里美



は届いていますか。

答 必要とされる自宅療養者の皆さんには、県が準備しているパッケージになった物資を市の職員が自宅まで届けている。

○コロナ後遺症について

問 数多くの方がコロナ後遺症を発症し通院を余儀なくされていますが市としての対策は。

答 コロナ後遺症病状の実態は不明点が多く、県も対応の検討中です。市としては、症状に応じて、後遺症と診断された医師へのご相談を勧めております。



▲コロナウイルス予防



個人質問

朝来市の文化財について

松井道信



○保全と管理について

問 文化財管理・保全の状況は。

答 文化財課に七名の学芸員有資格者が在籍している。生野支所に有資格者は不在であるが、文化財課と連携・協力して業務にあたっている。

問 遺跡発掘調査の進捗状況は。

答 令和4年度に西山1号古墳の調査を実施予定。令和7年度までに、他の古墳調査をまとめ、国史跡に申請していきたい。

問 文化財の保存について。

答 時代の流れによって、文化財の維持管理は非常に難しくな

ってきている。破損・散逸等の防止が喫緊の課題となっている。

問 文化財の保存方法や所在は。

答 文化財課で把握しているものについては、その都度相談しながら行っているが、未確認のものもあり、出来るだけ正確に把握したいと思っている。

問 資料のデジタル化について。

答 古文書は、保管すると共にデータはデジタル化し、後世へ

継承するようにしている。

○教育と文化財について

問 学校教育と文化財について。

答 副読本「わたしたちの朝来市」については、4年ごとに改訂をしており、小学校3年生を中心に有効活用している。

問 地域への愛着・誇りが持てる教育を。

答 将来大人になっても、この朝来市を想い、いつかは帰ってくる、そういった子供を育てていくために、学校では、ふるさと教育に力を入れている。



▲副読本『わたしたちの朝来市』

○子育て世帯への支援について

問 物価高騰など社会情勢が大きく変化している。子育て世帯への支援をどのように考えるか。

答 医療費助成をはじめ、経済的負担軽減に取り組んでいる。引き続き、子育て世帯への支援策を考えていく。

問 高校生等医療費助成事業の拡充を実施すべきである。

答 現在は入院医療費のみ自己負担分を無償化しているが、外来での医療費負担を軽減する必要性や健康保険者の負担調整など、引き続き検討し適切な時期に導入する。

○農業振興について

問 岩津ねぎの生産者、作付面積はどのように変化しているか。

答 生産者は、毎年10名程度やめられているが、作付面積は農業法人や新規生産者、移住による若手農業者の新規参入により維持できている。

問 後継者育成の観点から、若手農業者が生活できる、魅力あ



個人質問

幸せが実感できる まちの実現を

嵯峨山 博



る職業にしなければならない。

答 安定した収穫や、収益が得られ、若手農業者が生活出来る環境をつくり、モデルとなる施策も考える必要がある。

問 美術館や神子畑選鉱場跡のイベントにJRを利用しても、新井駅からのアクセスがない。路線バスだけでなく、循環バスを準備するなど思い切った事業が必要であると思いつた事業

答 提案いただいた内容を参考にし、検討を進めていく。



▲岩津ねぎ 協力して生産する若手農業者



個人質問

朝来の活力ある

まちづくりを拓く

森田 龍司



○朝来市人材育成計画について

問 職員に求められる役割と働き方が大きく変化している。市長は、これらに対応する人材育成について、どう考えているか。

答 朝来市人材育成計画のなかで基本テーマ「朝来市を愛し、未来・創造にチャレンジする職員」を掲げており、職員の意識改革と能力向上、働き方の多様化に対応できる人材育成を実施していく。

問 多様化する社会に対応する「求められる職員像」について。

答 職員一人一人が全体の奉仕者としての自覚の下、熱意と誠意をもって、多様化する社会に対応することが求められる。

問 30代は、約10数年の経験から、最も成長ができる、充実した時間を過ごせる重要な期間である。ここに特化した人材育成をどのようにしているのか。

答 30代は、主査級と係長の手前の階層に属しており、幅広い情報を収集・分析して業務の改

善と工夫を図る役割を担うため、職務遂行のため重点的に研修機会を確保している。

問 45歳から優秀な管理職として真価が問われるが、その準備ができていますか。

答 職員の人材育成、能力開発において、その成功の鍵を握るのは管理職であり、部や課を運営する上でのマネジメント能力の養成も大変重要である。また管理職として人間力という魅力を培うことも非常に大切なこととして取り組んでいく。

人材育成計画

Ⅱ基本テーマと「求められる職員像」

Ⅲ人材育成計画の基本テーマについて

市長とアライズ、職員とアライズ等の結果を受け、職員人材育成推進委員会における検討を経て、人材育成計画の基本テーマを以下のとおりとすることにしました。

朝来市を愛し、未来・創造にチャレンジする職員

を基本テーマとし、市が展開する能力開発制度、人事評価制度等の基本テーマとして位置づけます。朝来市職員は、自らの能力開発に努め、業務遂行に臨むことで、「朝来市を愛し、未来・創造にチャレンジする職員」を目指し、その実現に向け燃える、意欲あふれるプロフェッショナル集団形成に向けてまいります。

▲朝来市人材育成計画



個人質問

子ども達に安心・安全で

豊かな食を

藤本 邦彦



○みどりの食料システム戦略

問 国が2050年までに目指す農業の姿として目標を掲げている。朝来市はどう取り組むか。

答 本市では有機堆肥による自然に優しい農業を推進し、高品質、安全安心、さらには高収益につながる農業を目指している。

○ネオニコ農薬使用減らすべき

問 ネオニコの生態系への影響は深刻。どう考えているか。

答 ネオニコチノイド系殺虫剤は昆虫をはじめ、鳥類、魚類への影響のみならず、人への影響も徐々に明らかになっており、ヨーロッパなどの国では規制が進んでいる。

コウノトリ育む農法を中心に自然に優しい農業、有機栽培、安心安全な農業を推進する。

○コウノトリ米を学校給食に

問 子どもたちへの食育や農業体験がとても大切と考えるが。

答 食育を通じ安心安全で自然環境にも優しい食品を選ぶ市民を育てることは大変重要。



▲有機栽培の田んぼで餌をとるコウノトリ（与布土地域）

また、地域での農業体験を通じて農業の大切さを学ぶことは、市内の農業の活性化、将来の農業の担い手育成、朝来市の農業を守ることににつながる。

問 子どもたちの食育のためにも市内産無農薬コウノトリ米を学校給食に使ってはどうか。

答 市内産無農薬コウノトリ米は生産者も生産量も限られており、給食食材として毎回使用することは困難。価格も現在使用している市内産米の2倍近く。慎重に検討していく必要がある。



個人質問

全世代に優しいまちへ

上田 幸広



◎出生祝事業について

問 現在行われている出生祝事業は、全ての新生児に御祝いとして1万円のこども商品券と記念品としてフォトフレームが支給されているが、もう少し御祝いの金を増額すべきと考えるが。

答 他市に比べ低額である認識しており、過去2年間の支給対象者にアンケート調査を実施し結果を検証しより良い事業となるよう検討したい。

問 朝来市では、婚姻届時にオリジナル婚姻記念証を発行して好評を博しているが、出生届け時にも、市独自のオリジナル出生届けや、命名書などを作成し贈呈してはどうか。

答 ご提案とアンケート調査を踏まえ前向きに検討したい。

◎学校教室のLED化について

問 教室のLED化の現状は。

答 校舎・体育館共にLED化が完了している学校は1校。校舎のみ完了が1校。体育館のみ完了が5校となっている。

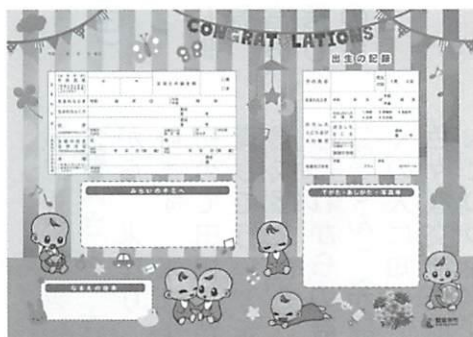
問 今後のLED化の計画は。

答 第3期朝来市教育振興基本計画にも照明のLED化を掲げており、なるべく早い時期に完了させていきたい。

◎高齢者への援助について

問 他市では、高齢者の困りごと（除雪や家の周りの手入れ）に対応する軽度生活支援事業を行っている。朝来市も導入を検討すべきでは。

答 高齢者のニーズも踏まえて事業の必要性を検証し他市の事例を研究したい。



▲香川県観音寺市のオリジナル出生届



個人質問

竹田城は竹田城跡

「じょうせき」でない

日下 茂



問 先日、日本航空本社の役員を紹介し具体的な取組みが協議でき、ふるさと納税で連携が決定した。今後も協議を進め誘客に協力を求めるべきと考えるが。

答 議員に取次ぎいただき役員各位と連携した事業展開を協議できた。当市の観光開発や誘客についても協力を依頼できた。継続して協議したい。

◎竹田城跡「じょうせき」に異議

問 ひょうご観光本部と日本航空が企画する、教育修学旅行に竹田城が選定された。当市から城、城址を城跡「じょうせき」に変更を求めたが理由は何か。

答 竹田城、竹田城址を市で統一している竹田城跡に変更を要請した。

問 大辞泉によると、城址は石垣の残った状態、城跡は何も残っていない状態と記してある。地図記号も城跡は「しろあと」であり、「じょうせき」とは読まない。辞典も「じょうせき」の表記はない。見解は。

答 どれが正しいかはいい難いが、城や城址でなく城跡「じょうせき」が浸透していると考え

◎生野庁舎の建設を再考すべき

問 JRの発表や社会情勢の悪化で播但線非電化区間が厳しい状況だ。生野の活力も失われている。スーパー、ホテル等民間とコラボして播磨の避暑地として交流人口を増やすべきで、庁舎建設の見直しが必要でないか。

答 公共施設の再配置計画で進め、特に異論は聞いていない。



▲人影もまばらな生野駅

現代版「百姓」を実践中

(栃原区在住)

朝来市の南玄関、栃原区に昨年移住された嶋崎さんご夫婦。自然の中で様々な生業を営み、手作りの丁寧な暮らしを目指しています。現代版「百姓」の生き方をうかがいました。

○移住のきっかけ

(幹太さん) 神戸育ちですが、幼少期から祖父母の住む栃原で自然に親しみました。鳥取で林業を学び、何度かの移住を経て「理想の暮らしがしたい」と夫婦で栃原にきました。祖母と犬、猫、鶏2匹との生活です。

(望さん) 東京育ちですが、小さいころから山が好きでした。移住先の信州で幹太さんと知り合い結婚。栃原は信州より移住者が少ない分、自分達で生活を切り拓くワクワク感があります。

○今の暮らし

(望さん) 地元の味噌加工所で働いています。今年4月に後継者として引継ぎ、代表となりました。この味噌はくせのない味で溶けやすく毎日の味噌汁にぴったりです。味は変えず、生



▲変わらぬ美味しさをお届けします！

産工程の改善に努めています。(幹太さん) 森林組合で働きながら、米作り、野菜作りもしています。米は手植えです。昨年初めて田植えから収穫までを一貫して行い、手作りの楽しさと達成感を得ることができました。

○これからの展望

(望さん) 発酵食品の魅力を多くのの人に知ってもらいたいです。色んな交流の機会を作りながら、人とのつながりを増やしたいと思っています。

(幹太さん) 農村の暮らしの良い所を受け継ぎつつ、新しいことを取り入れ、自立をしていきたいです。まずはお米の販売を目標にしています。

朝来市議会へ
ご意見をお寄せください

朝来市議会では、皆さんからの多様なご意見を議会活動へ反映させることや、議会の広聴機能の充実・強化を図るため、令和3年5月から本庁舎（1階、5階）と各支所窓口にて、『ご意見箱』を置いています。

広く、市民の皆さんからのご意見をお待ちしています。市議会に対するご質問、ご要望、ご提言など、お気軽にお寄せください。



▲本庁1階総合窓口設置の意見箱

9月定例会の予定

月	火	水	木	金
			9/1 本会議	2
5	6	7 本会議	8	9 一般質問
12 一般質問	13 一般質問	14 文教民生 常任委員会	15 産業建設 常任委員会	16 総務 常任委員会
19	20 文教民生 常任委員会	21 産業建設 常任委員会	22 総務 常任委員会	23
26	27 予算決算 特別委員会	28	29 本会議	30

傍聴など、お問い合わせは
議会事務局 TEL 672-1930